

## 茂原市自治基本条例を考える市民の会 第2回会議 概要

開催日時	平成24年2月16日(木) 18時～
開催場所	茂原市役所502会議室
出席者	実行委員会委員35名(うち3名所用のため欠席) 事務局(十枝企画政策課長、酒井企画財政部主幹、風戸企画政策課副主査、 星野企画政策課主事、宮脇企画政策課主事)
会議次第	1.開会 2.議題 (1) 課長あいさつ (2) ファシリテーション(合意形成の手法)について (3) その他 3.閉会
会議要旨	2.議題 (1) 課長あいさつ 急な部屋の変更があり申し訳ありませんでした。 本日は18時から21時までの予定で、ファシリテーション(合意形成の手法)とその他の2つの議題について進めたいと思います。 その他の部分で、本日お配りした「茂原市自治基本条例に関する考え方の整理」についてご説明させていただきたいと思います。 また、ご連絡させていただいた通り、千葉大学の関谷准教授にお越しいただけることになり、以前予定していた3月15日から3月7日に日程を変更して3回目の「考える会」を開催したいと思います。開催時間は18時からで変更ありません。 第2回目ということで、ファシリテーションから入るのは皆さんにとってストレスがたまるかもしれませんが、皆さんがこれからいろいろ進めていく中で、会議の進行の技術を学び、作業を通じて皆さんが顔なじみになっていただくということもあるので、本日はお付き合い願いたいと思います。 (2)ファシリテーション(合意形成の手法)について 事務局から資料を元に説明 ・ファシリテーション(合意形成の手法)とは ・ファシリテーターにとって大事なこと ・ファシリテーション(会議進行の流れ) ・アイスブレイクとは ・アイスブレイク実践(人間地図) ・ワークショップ演習(1)茂原市の魅力と思うもの ・ワークショップ演習(2)茂原市の魅力を伝えるプレゼン

・全体発表

### 【1班】

1班で茂原市の魅力についてまとめたことを発表します。

まず、大きく分けて自然環境が豊富であること、都心へのアクセスがよいこと、歴史・文化の資源がある、産業の可能性がある、市民の人間性が良いという5つのカテゴリーになりました。

自然環境については、気候が温暖で住みやすい、それに伴って山あり川あり畑あり田んぼあり、非常に人が癒される環境であるということです。

2番目に首都圏へのアクセスが良いということですが、これから圏央道ができる、現在でも東京までのアクセスが良いということです。特急が止まるという良さもあります。

3番目として、歴史・文化の資源があるということですが、茂原市を導いた先人たちの歴史・文化があります。茂原公園や美術館のほか、七夕まつりで全国から人が集まるという環境もあります。

次に、産業の可能性については、茂原市の休耕地の利用や、いろいろ土地もあるのでこれから農業も発展するのではないかと。天然ガスも使える。六斎市などの歴史的なものもある。また地価が安いので、工業を誘致することも可能ではないかということです。

最後に、市民の人柄が良いということですが、いろいろあるかと思いますが、このように恵まれた環境に住んでいるせいでしょう。人柄が温暖でいい環境でありますので、ぜひ茂原に住んでいただきたいと思います。

### 【2班】

それでは、茂原市の魅力についてプレゼンいたします。

茂原市は大変地理的に恵まれており、特急や快速の停車駅にもなっています。東京まで1時間で行ける魅力に富んでおります。

また、国際的にも成田空港まで1時間で行くことができ、海外まですぐに飛んでいくことのできる茂原市です。羽田にもバス便が通っており、大変便が良いところです。

次に、観光ですが、日蓮宗の総本山である藻原寺の庭園は大変素晴らしく、春には茂原公園に桜が咲き、夏には伝統のある七夕まつりがあり、服部農園のあじさい屋敷などの観光スポットも魅力的な場所があります。

生活面では、まちに行く子どもたちがよくあいさつをしますし、自然発生的なボランティアの人々が多くおります。人々がゆったりのんびりしている人間的な良さもあります。

まちもきれいですし、騒々しくなく、大きな犯罪も起きてはいません。農産物に恵まれ、のどかな農園風景が広がり、農業が盛んです。飲食店（飲み屋さん？）が多い、暮らしやすいまちです。

自然環境については、農産物ができるところでは自然に恵まれておりますし、九十九里平野の一角を成し、平野で住みやすい、丘陵のない素晴

らしいところです。災害も少なく、気候も温暖で、住みやすいまちです。

### 【3班】

茂原市の魅力について、2分以内でプレゼンテーションしたいと思います。

茂原市の魅力としては、非常に自然が豊かです。気候の面で見ても、寒暖差が激しいわけではないので、暖かくて住みやすい。そして何よりも自然が豊かです。庭にはすずめ、ひよどり、うぐいす、ほととぎすなどの鳥の声が聞こえます。

農産物については、野菜などが非常に安い。地理的な面で言うと海に近いので、茂原に住んでいるサーファーが多いです。津波などの被害が少ない、豪雪地帯でもないため、風水害も少ないです。

交通と利便性の面については、茂原市には本納・新茂原・茂原とJRの駅が3つあります。東京に近く、快速で1本で行けます。朝、上り電車は座りやすいので、座って寝ていれば東京に着くことができます。

利便性も、買い物が非常に便利で、128号線沿いにはニトリやカインズホームなどの大型量販店が多いです。特に、週末に駅周辺等に行けば、飲食等に困ることはまずありません。

その他のカテゴリーとして、茂原市は非常にパチンコ店が多い。資源の面で見ると、天然ガスが多く出る。そして、60年間継続している七夕まつりがありますので、こんな魅力的なまちに住民票を移してください。以上です。

### 【4班】

今日僕は初めて聞いたのですが、風の人と土の人という人種があります。知っている人いますか？風の人と土の人。地の人と新住民という意味なんだそうですが、「人には二つあり、風の人と土の人。二つの人を調和して、『風土』を織り成す」ということを言った人がいるそうです。インターネットなどで調べてみてください。とてもいい言葉だと思いました。

茂原はそういう人が一緒に住んでうまくやっているところなのではないかなと思います。

元から暮らしている人も、いろんな人も、暮らしやすい理由は地理的に外房の、千葉県の真ん中にあるということがあるのではないかと思います。都会にも割と近く、東京などにも場合によっては通うことができます。

真ん中なので、自然環境が豊かなところにも近いし、市内にも自然環境が豊かなところが残っています。まだまだたくさんあります。

まちは静かです。買い物にも案外便利で、ないものもあるけどだいたいものはあると思いませんか？あんまり困らない。地区ごとに福祉センターがあったり、アスモがあったり。アスモの成り立ちなどは素晴らしいですね。

海にも近いので食べ物もおいしい。山にも近いので野菜もおいしい。お米はつくっている。食べ物が豊富で物価が安い。子どもが育つような高校もたくさんあります。以上です。

## 【5班】

私たちは、メインポイントとしてとにかく自然環境、これが素晴らしい。住んでとてもいいところだということポイントにしました。皆さん、老後になったらぜひ茂原市に来てください。リハビリにも大変いいです。これがメインポイントです。

そして地理的条件ですが、圏央道ができました。企業立地にも通学通勤にも非常に便利になります。立地的にも非常に恵まれています。これが2つ目のポイントです。

3つ目としましては、文化的な面白さ。茂原市には日本全国からいろんな方が集まっています。そして、老年・若年のバランスが非常にいい。若い人たちのお世話もできます。茂原に来れば安心です。これが3つ目のポイントです。

もう一つのポイントは観光。茂原にはお寺や掩体壕、これは近代の戦争の歴史ですが、藻原寺のように中世の歴史もそろっています。バランスの取れた文化、観光面では赤ちょうちん、居酒屋さんが多い。夜は楽しく過ごすことができます。

災害があっても茂原に来れば食べ物がすぐに手に入る。山にも逃げられる。大変いいところですよ。おいでください。

## 【6班】

それでは6班が茂原市の魅力を伝えていきたいと思えます。

茂原市の大きな特徴は、豊かな自然があるということです。具体的にみていくと、まず、気候が暖かい。暖かいと、人の心もやさしくなれる。そして、茂原市には昔ながらの田園風景や里山風景もあります。やはりビルばかりだと人の心も荒みます。でも、こういった昔ながらの風景があることで、人々の心は豊かになっていきます。

また、自然と住まいの共存。先ほどの話と同じですが、人の心を豊かにしてくれるようなものがたくさんあります。生き物を見てみると、国指定の天然記念物のヒメハルゼミ生息地があったり、カエルが多かったりなど、自然が豊かであるだけでなく、生き物も多いです。

そんな豊かな自然に囲まれた茂原の生活を見てみると、皆さん先ほどの話を覚えていますか？茂原は暖かい。場所が良い。人の心も豊かである。人もやさしい。なので、茂原には飲み屋が多い。パチンコ屋も多い。なぜかゴルフ場も多い。これは良い人ばかりだから飲み屋に行きたいのです。他にも土地が安い、近くに海や山があつて農産物・海産物がたくさん手に入る。住みやすい、のんびりしている、市民はみんなあたたかく我々を見守ってくれています。

片や、産業面で見えていくと、豊富な地下資源があったり、一番のメリットとしては、東京に近いということが言えるのではないのでしょうか。羽田や成田からも近いので、たくさんいろいろなところから多くの人々が来ます。

そんな豊かな自然や生活がいい、資源がそろっている茂原市にはまつりがあります。自称 3 大まつりの七夕ですが、これを本当の意味の日本 3 大祭りにしていきたい。茂原公園の桜百選。

最後に、茂原市はいま自治基本条例をつくろうとしています。市民協働に力を入れている。そんな茂原市に皆さん住んでみたいと思いませんか。

#### 【事務局】

素晴らしいプレゼンをありがとうございました。録音して使わせていただきたくらいです。このように和やかに進めることができたのは、市民塾ですでお知り合いだった方もいますが、最初のアイスブレイクで「人間地図」をやったことがウォーミングアップになったのではないかと思います。

皆さんが今後、自治基本条例についての検討を進める中で、一般市民にいきなり自治基本条例について投げかけても、いい返答はなかなか難しいのではないかと思います。

このようなアイスブレイクやワークショップなどの手法を活用するといいかもしれないと考えて紹介させていただきました。

ワークショップについて振り返ると、語源は「作業場」「工房」であり、それを転じて積極的なコミュニケーションによる学び・創造・学習の場とするものです。

その標準的な流れとしては、今と同じようにまずはアイスブレイクで参加者同士が打ち解けるところからスタートし、参加者が自分の考えはどうなのかまとめる時間を取り、グループワークでそれぞれの意見が飛び交う中で、発散から収束へとつなげていく、最後にそれを発表して振り返る時間を設けることによって、全員で共有することによって、会議の満足度が上がります。

#### (3)その他

考え方の整理…資料に基づいて説明

自治基本条例の構成例について、第 1 回会議で行政側から例を示してほしいという意見をいただいたので、3 つの自治体について参考資料を作成した。

一つ目は千葉県内で制定済の流山市。2 つ目は行政側で視察に伺った東京都小平市。3 つ目は議会の関係で視察に伺った愛知県一宮市になっている。

次回第 3 回会議については、関谷先生と相談した結果、自治基本条例で議論すべきポイントをラフに確認しながらディスカッションしてはどうかというアドバイスをいただいた。第 1 回会議で自治基本条例の必要性から話し合ったほうがいいのではないかという意見も出たので、次回は 3 つ程度のグループワークで確認したい。

それぞれのグループから発表し、それを全員で共有し、アドバイザーである関谷先生からアドバイスをいただくという流れで進めたい。

#### 【質疑応答】

・12 月の関谷先生の公開講座で配布された資料を、持っていない方に配布してはどうか（そのように手配したい）

【その他】 ハートフルフェスタ（男女共同参画大会）について

昨年までは男女共同参画に係る講演会等を行政が主体で実施していたが、市民の皆さんといっしょになって進める必要があるのではないかとということで、ボランティアの実行委員を募集したところ、18名の委員さんが集まってくださった。チラシの作成や企画運営、当日のスタッフまで、皆さんボランティアという形だをご参加いただいている。これが市民協働での進め方の一つの好例になっていくのではないかと考えている。ぜひ市民の会の皆様にも足をお運びいただきたい。

講師の渥美雅子さんは千葉県初の女性弁護士で、仕事と女性の未来館の前館長も務めていた方。弁護士としての顔と、もう一つ講談師としての顔もお持ちで、今回は来年の大河ドラマで取り上げられる「新島八重」さんの生涯を講談で語っていただく。